

林道有峰線(東岸区間)の整備について

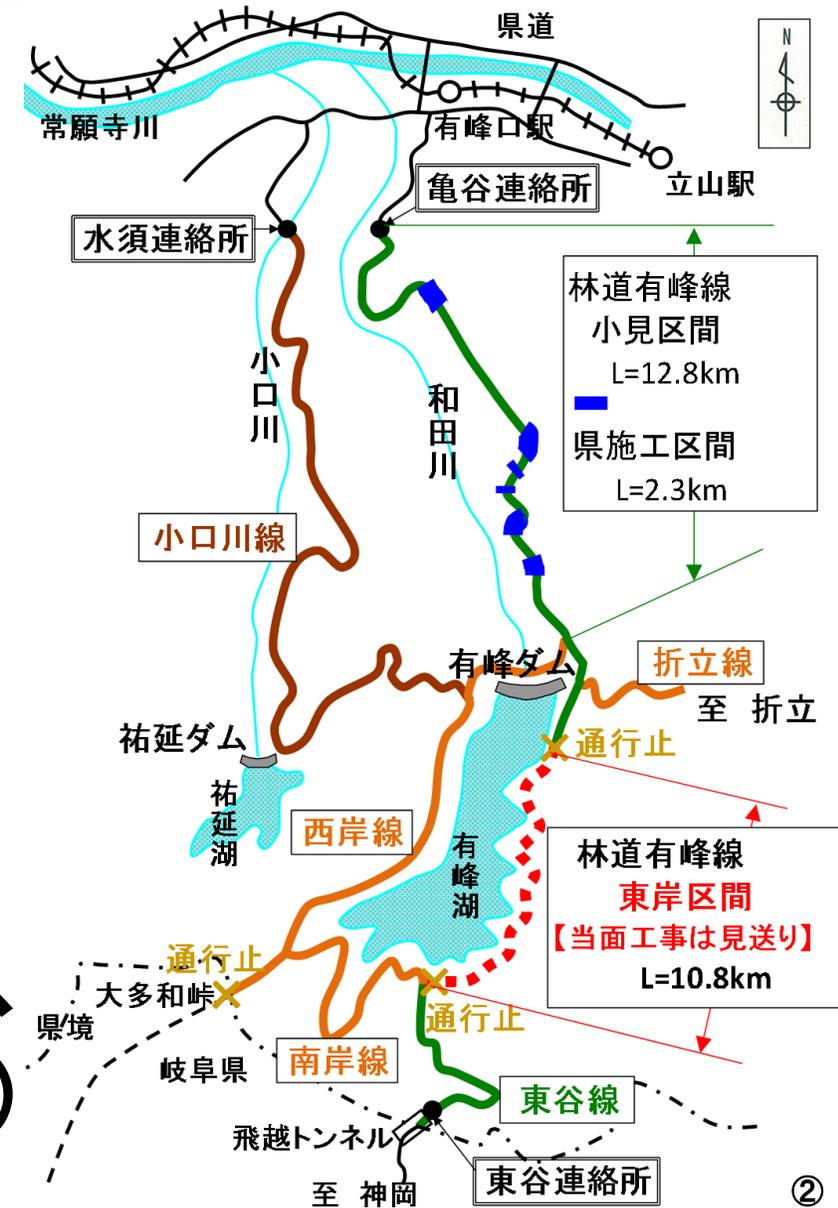
◆ 当面工事は見送り



- 現地に生息しているハクバサンショウウオの保全対策をどう進めるか時間をかけて検討していくことが適切であると判断

林道有峰線「東岸区間」の検討状況等

- 平成20年度より県が林道有峰線「小見区間」の整備に着手
- 令和元年10月に東岸区間でハクバサンショウウオを確認
- 令和2年度からの東岸区間の工事着手を見合せ
- 自然環境保全検討委員会を設置し、保全対策等について検討(4回開催)



自然環境保全検討委員会の検討結果

- 保全対策として、道路線形の見直しにより、現状の産卵場所をすべて回避できたとしても、成体を含めた生息全体を保全することは難しく、事業を進めるにはさらなる努力が必要
- 保全対策として、人工産卵池を設置するとしても、他に事例がなく、長期の検証が必要

林道有峰線「東岸区間」の今後の対応

- **一般車両の通行禁止を継続**
- **ハクバサンショウウオの生息状況等の調査を継続**
- **法面崩壊や森林災害の有無について、定期的にパトロールを実施**